

医整第938号  
令和4年12月14日

一般社団法人 岐阜県医師会長  
公益社団法人 岐阜県歯科医師会長 } 様

岐阜県健康福祉部医療整備課長

診療所における効果的な感染対策の好事例の紹介について

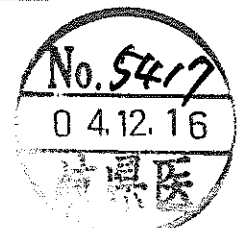
このことについて、厚生労働省コロナ本部医療班から一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会が公表した「診療所における効果的な感染対策の好事例の紹介」について、医療機関等への周知依頼がありましたので、内容を御了知の上、貴会会員等に周知いただきますようお願いいたします。

なお、県内各保健所には別途通知しましたので、申し添えます。

(参考)

新型コロナウイルス感染症プライマリ・ケアのための情報サイト  
<https://www.pc-covid19.jp/>

医療整備課 医事係  
担当係長 山下 担当 山内  
TEL 058-272-1111 (2527)  
直通 058-272-8265 FAX 058-278-2623  
〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1



## 診療所における効果的な感染対策の好事例の紹介

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会

### 前文

新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナ）はこの2年あまりで世界に拡大し、日本国内でも各医療機関は感染対策を継続工夫されてきたことと思います。

これから冬を迎え、プライマリ・ケアの外来には発熱等の感冒様症状を訴える患者が増えると予想されます。それに備え、これまでの新型コロナ流行下で実践されてきたプライマリ・ケアでの効果的な感染対策の工夫例と発熱外来を設置・運用する上での工夫例をまとめましたので、ご紹介します。いずれも実際に医療機関で実践されている事例をお寄せいただき、整理したものです。

診療所や小規模病院等のプライマリ・ケアにおける感染対策には、施設構造も含めた医療資源の面で様々な制約があります。理想を追求しつつも、制約の中での実行可能な工夫や妥協点を見出すのが、プライマリ・ケアにおける感染対策の要点とも言えるでしょう。

本資料を各医療機関での感染対策向上の参考にしていただければ幸いです。また、本資料は日本環境感染学会に監修していただいています。

### 目次

I. 診療所における効果的な感染対策の工夫例	… 2
工夫1. 待合室における感染対策	… //
工夫2. 診察・検体採取時の感染対策（ <u>PPPEの着脱の工夫を含む</u> ）	… //
工夫3. 処方・調剤における工夫	… 3
工夫4. オンライン診療の活用	… //
II. 発熱外来を設置・運用する上での課題と工夫例	… 3
課題1. 通常診療よりも大きな作業負担を軽減する	… 4
課題2. 院内感染が生じた場合の休業リスクに備える	… //
課題3. かかりつけ患者に重症化リスクの高い患者が多い	… //
課題4. 施設構造等の問題で理想的な感染対策が難しい	… //
課題5. 発熱・感冒様症状患者への処方・調剤の流れを工夫する	… 5
課題6. オンライン診療を適切に活用する	… //
課題7. 入居しているテナントの管理者の理解を得るよう努める	… //
別添1	… 6
別添2	… 7

## I. 診療所における効果的な感染対策の工夫例

注：

感染対策においては、標準予防策及び感染経路別予防策を適切に遵守実行することが不可欠です。以下に示す内容は、手指消毒も含めた標準予防策及び感染経路別予防策を適切に行う前提の下に、診療所における付加的な工夫例です。

### 工夫1. 待合室における感染対策

- 自家用車で来院している患者は車中で待機してもらう
- 基本的な感染対策を徹底する。具体的には窓開け、サーキュレーターの活用、CO<sub>2</sub>モニターの設置

参照：「感染拡大防止のための効果的な換気について」（令和4年7月14日内閣官房新型コロナウイルス感染症対策分科会）

[https://corona.go.jp/emergency/pdf/kanki\\_teigen\\_2220719.pdf](https://corona.go.jp/emergency/pdf/kanki_teigen_2220719.pdf)

### 工夫2. 診察・検体採取時の感染対策

- 院内のゾーニング・動線分離を行う
  - 発熱・感冒様症状患者の駐車場と院内への動線を一般患者と分離する（矢印等で導線をわかりやすく表示する）
  - 発熱・感冒様症状患者用の診察スペース等を確保する
    - ・パーティションによる簡易な分離
    - ・空き部屋等を診察室として活用
    - ・プレハブなどを新たに設置
  - 空間的分離を行わない場合において、発熱・感冒様症状のある患者とそうでない患者を、時間的に分離して診察する
- 個人防護具（PPE:Personal Protective Equipment）の着脱を工夫する（参照：別添1）
  - 患者対応時にはサージカルマスクを常時装着し、飛沫暴露のリスクがある場合はアイシールド・フェイスシールドを装置する。（日本環境感染学会、新型コロナウイルス感染症対応ガイド第4版表2参照）
  - 患者に手や体幹が直接接触する可能性がある場合は手袋、ガウンも装着する

- 1 対応ごとに手指消毒を徹底する。手袋を使用する場合は、1 対応毎に手袋を交換し手指消毒も徹底する。サージカルマスク、アイシールド・フェイスシールド、ガウンの交換は、大量の飛沫を浴びたり、それらが患者に直接接触した場合に限定してもよい
- 検体採取の場所を工夫する
  - 検体採取を屋外や駐車場（や車中）で行う（※プライバシーへの配慮は必要）
  - 唾液による PCR 検査・抗原定量検査や、鼻かみ液によるインフルエンザ迅速抗原検査を活用することで飛沫やエアロゾルの発生を抑える（鼻かみ液採取用のシートが市販されている）
- その他の感染対策上の工夫
  - 難聴の患者と大声で会話することを避けるために、スマートフォンを用いた翻訳機器（ポケトーク S Plus 等）の音声認識・自動文字化機能を活用
  - 患者にタブレット端末を渡して、オンラインで診療、説明などを行う
  - 上記のような感染対策が構造的に困難な場合は、時間的分離で対応する

### 工夫 3. 処方・調剤における工夫

- 特例承認の経口抗ウイルス薬の処方に必要な同意書を電子化しタブレット上でサインを得る。  
参照：「新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬（パキロビッド®パック）の医療機関及び薬局への配分について（別紙、質疑応答集及び参考資料の修正）」（令和 4 年 9 月 27 日最終修正）厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部）  
<https://www.mhlw.go.jp/content/000994438.pdf>
- 発熱患者への処方・調剤の流れについて近隣調剤と共に確認し、感染対策の助言を行い、発熱患者が薬剤を受け取れる体制を構築する
- 調剤薬局が近接している場合は、患者は自院の駐車場の自家用

### 車内で待機し薬局から手渡しに向かう

- 調剤薬局において電話やオンラインでの服薬指導や配送体制を構築する

### 工夫 4 オンライン診療の適切な活用

- 「Ⅱ. 発熱外来を設置・運用する上での課題と工夫例」の課題 6 の項目参照

※上記の工夫例の他、具体的な感染対策については、以下の資料も参考にされたい。

参照：「今秋以降の感染拡大期における感染対策について」（令和 4 年 10 月 13 日内閣官房新型コロナウイルス感染症対策分科会）

<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/ful/taisakusuisin/bunkakai/dai19/kansentaisaku.pdf>

## Ⅱ. 発熱外来を設置・運用する上での課題と工夫例

### 課題 1. 通常診療よりも大きな作業負担を軽減する

- 初診患者が多くなるため、病歴・背景情報把握にかかる負担の軽減が必要
  - 事前に WEB 問診（インターネットによる問診）システムで情報収集する
    - ・ 企業が提供する WEB 問診システムを活用し、対面診察の時間を短縮
    - ・ 電子カルテや HER-SYS と連携できる WEB 問診システムを採用し、事務負担を軽減
  - 発熱・感冒様症状用の問診票を用意し、緊急性のある症状の有無、電話診療やオンライン診療（以下、電話・オンライン診療）の可否、新型コロナ治療薬の適応等を事前に確認する（参照：別添 2）
    - ・ 上述の WEB 問診システムと組み合わせることが効果的
- 院内各所での感染対策に工夫が必要
  - 「Ⅰ. 診療所における効果的な感染対策の事例」を参照

## 課題2. 院内感染が生じた場合の休業リスクに備える

- 日本医師会等が提供する休業補償保険に加入する
- 医療機関の休業が生じても個別の訪問診療を維持するために、平時から地域の医療機関間での連携体制を整える
  - ・ 地域の在宅患者情報を共有するネットワークへの加入
  - ・ 地域の訪問診療担当医師間で代診（代理訪問・代理往診）ができるような協力関係を構築
- 休業した場合でも可能な限り電話・オンライン診療を継続する

## 課題3. かかりつけ患者に重症化リスクの高い患者が多い

- 院内各所での感染対策に工夫が必要…「I. 診療所における効果的な感染対策の事例」を参照
- 電話・オンライン診療の適切な活用（参考：II. 課題6）

## 課題4. 施設構造等の問題で理想的な感染対策が難しい

- 施設構造等の制約を踏まえた現実的かつ効果的な感染対策を工夫する…「I. 診療所における効果的な感染対策の事例」を参照
- 時間的分離（診療時間の分割）による対応
- 電話・オンライン診療の適切な活用（参考：II. 課題6）

## 課題5. 発熱・感冒様症状患者への処方・調剤の流れを工夫する

- 「I. 診療所における効果的な感染対策の事例」における工夫3の項目参照

## 課題6. 必要に応じて一部の患者にオンライン診療を適切に活用する

- 予約時の情報でオンライン対応できると判断した患者にオンライン診療を提案する
  - 例) みなし陽性と判定できる家庭内感染の患者、家庭等での自己検査が陽性になった患者など
- 事前にWEB問診で情報収集する（参照：別添2）
- 企業が提供するオンライン診療システムの導入（支払も行えるシステムであれば尚良い）
  - 参考) スマートフォンアプリが利用できるオンライン診療システムもある

→ 行政が設置するオンライン診療センターで診療を行う

**課題7. 入居しているテナントの管理者の理解を得るよう努める**

→ 時間的分離を検討する

例) 発熱・感冒様症状患者専用の診療時間帯、曜日を設ける等

→ 電話・オンライン診療の適切な活用 (参考: II. 課題6)

**【工夫事例をお寄せいただいた医療機関】**

- L.H.W ファーマシー岸里店
- 医療法人小内医院
- グローバルヘルスケアクリニック
- 佐世保市総合医療センター宇久診療所
- 鹿浜診療所
- 清水メディカルクリニック
- 社会医療法人正和会 小玉医院
- 医療法人社団家族の森 多摩ファミリークリニック
- 医療法人社団希慳会 ながたクリニック
- 医療法人メファ仁愛会 マイファミリークリニック 蒲郡  
など

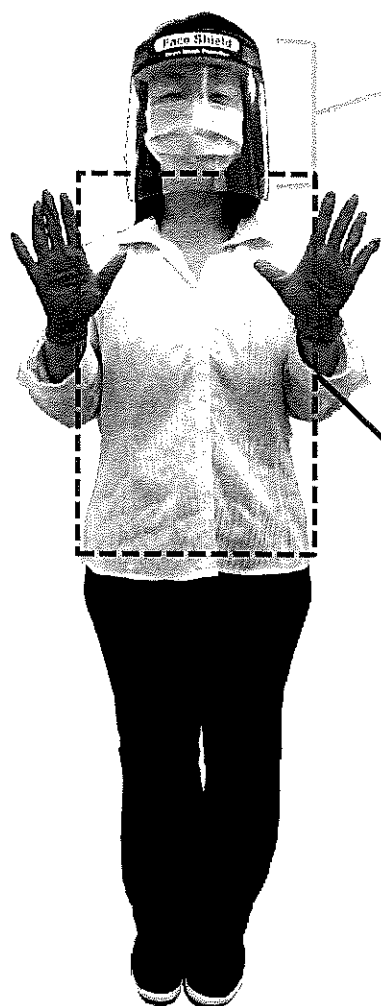
ご協力誠にありがとうございます。

## 【別添1】PPE（個人用防護具）の着脱について

### 例1：（例2の場合以外の場合）

サージカルマスク、フェイスシールド、手袋を基本とし、  
ガウンは必要時のみ（下記参照）装着する。

交換すべき場合は以下のとおり。



マスク、フェイスシールドは、汚染※した場合や勤務終了時などに交換

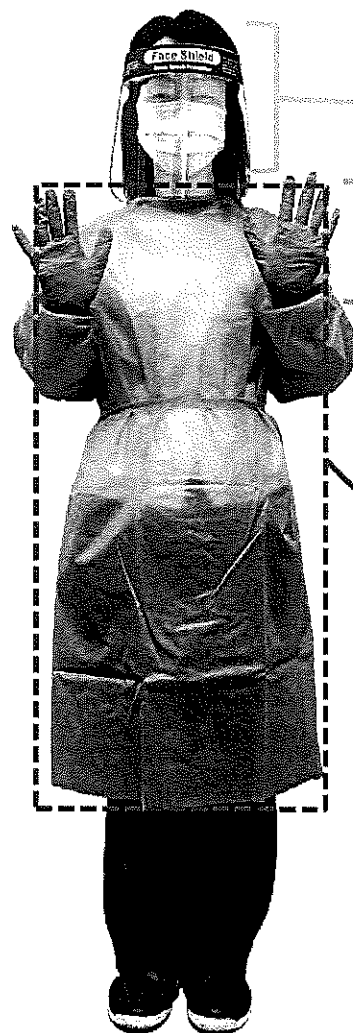
手袋は患者毎に交換

ガウンは、手以外の部位が患者に直接接触することが見込まれる場合や、大量の飛沫の曝露が見込まれる場合のみ装着し、その都度交換する。

### 例2：小児の診療など、大量の飛沫への曝露や患者への直接の接触があるか予想できない場合

サージカルマスク、フェイスシールド、手袋を基本とした上で  
ガウンも常時装着し、汚染※した場合のみ交換する。

交換すべき場合は以下のとおり。



マスク、フェイスシールドは、汚染※<sup>1</sup>した場合や勤務終了時などに交換

手袋は患者毎に交換

ガウンは、診療の最初から装着し、汚染※<sup>1</sup>した場合のみ交換する。

※1：大量の飛沫への曝露、患者に直接接触した場合など



【別添2】 発熱等かぜ症状外来 事前問診例

- 氏名、性別、生年月日、年齢、住所、電話番号、保護者氏名（未成年の場合）

1. 症状について教えてください

症状	あり・なし	症状の始まった日
発熱	あり・なし	
咳	あり・なし	
のどの痛み	あり・なし	
全身倦怠感	あり・なし	
頭痛	あり・なし	
腹痛	あり・なし	
吐き気／おう吐	あり・なし	
下痢	あり・なし	
味覚・嗅覚障害	あり・なし	
その他の症状	あり・なし	

2. 症状の詳細質問

発熱

- Q. 熱が最も上がったとき
  - Q. 熱が最も上がったのはいつですか（日にち）
  - Q. 何時頃ですか
- Q. 現在の体温
- Q. 今回の症状で市販のかぜ薬や解熱剤は使用しましたか

消化器症状

- Q. 吐き気・嘔吐の状況
  - Q. 嘔吐に血液や黒いものが混じっていますか
  - Q. 食事や水分は十分に取れていますか
- Q. どんな事で腹痛が変化しますか
- Q. 嘔吐・下痢の原因となる食べ物に心当たりはありますか

- Q. 下痢の様子
- Q. 下痢の重症度
- Q. 顔色はいつもと比べてどうですか
- Q. お腹のどのあたりが痛いですか
- Q. お腹が痛み始めたときと比べて、痛む場所は変わっていますか

#### 咳・気道症状

- Q. 咳に伴う症状
- Q. 鼻水の様子
  - Q. 医師に花粉症と言われたことはありますか
  - Q. 目の痒みはありますか
- Q. 喉の痛みは今まで経験したことのない強い痛みですか
- Q. どのような時に喉が痛いですか

#### 3. 周囲の感染状況等

- Q. 新型コロナウイルスに感染した方と濃厚接触（のうこうせつしよく）がありましたか
- Q. 幼稚園、保育園、学校で流行している病気
- Q. 幼稚園・保育園・学校の名前
- Q. 家族や身近な人でインフルエンザや病気にかかっている人はいいますか
- Q. 今シーズンのインフルエンザ予防接種は受けましたか

#### 4. 感染者との接触/ワクチン接種歴

- Q. 最近、海外に行きましたか
  - Q. 国名と期間
- Q. 新型コロナウイルスワクチンを何回接種しましたか
  - Q. 一番最後に接種したのはいつですか
  - Q. 一番最後に接種したワクチンの種類はどちらですか

#### 5. かかったことのある病気や治療中の病気について教えてください 既往歴（重症化リスク因子の確認）

- Q. 悪性腫瘍（がん等）
- Q. 慢性閉塞性肺疾患（COPD）
- Q. 慢性腎臓病

- Q. 心血管疾患
- Q. 脳血管疾患
- Q. 高血圧
- Q. 糖尿病
- Q. 脂質異常症
- Q. 上記以外でかかったことのある疾患があれば記入してください
- Q. 過去の大きな手術の有無
- Q. 喫煙歴
  - Q. 1日の喫煙本数
  - Q. やめてからの年数
  - Q. 喫煙年数
- Q. 臓器の移植、免疫抑制剤、抗がん剤等の使用その他の事由により免疫の機能が低下している可能性はありますか
- Q. 妊娠していますか
  - Q. 妊娠何ヶ月目ですか
  - Q. 授乳中ですか

#### 6. 病歴・生活習慣質問

- Q. 身長
- Q. 体重
- Q. 普段から飲んでいる薬
  - Q. 何の薬ですか
- Q. かぜなどの時にいつも処方されていて今回も処方を希望する薬
- Q. 今回の症状で他の病院にかかりましたか
- Q. 薬や食べ物のアレルギー
  - Q. 食物アレルギーの種類
  - Q. 薬剤アレルギーの種類
  - Q. 起きた症状
- Q. その他ご要望・ご質問・伝達事項等あればご記入ください

#### 7. 未成年の場合の保護者情報

- Q. 保護者氏名
- Q. 保護者住所
- Q. 保護者電話番号